

西光寺だより

第二四二号 令和四年 六月一日発行

6月、田植えの季節となりました。地域によって差はありますが、この辺りでは田んぼに水が張られ、まだ小さい苗がきれいに植えられている様子を目にします。

米作りは、その漢字を分解して『八十八の手間』、すなわち煩雑な作業と膨大な仕事量が必要とされます。

土作りに始まり、苗の準備、苗を育てて田植えとなり、稲が育つまで除草や害虫を取り除きます。

また常に水の管理も必要です。台風や干ばつなどの自然を相手にしながら毎日のように気に向け、秋が来て稲穂となったらようやく刈り取ることができるようです。

私たちの主食でもあるお米が、こんなにも多くの手間をかけ育てられているとは、お米を育てている方々でないかぎり、なかなか気付けません。

今、世界ではさまざまな出来事により小麦が手に入りにくくなっていくといわれています。今までお店に行けば当然のようにあるものと勘違いしていた食べ物、育ててくれていてくれる方々がいて下さるからこそであります。

食えることはいのちを繋ぐこと。

私たちが生きるうえで欠くことの出来ない食べ物ができるまで、そこには育てて下さっている方々の大切なお力があること。

仏さまにお供えするご飯、お仏飯。

それは私たちが生きてゆくために大切な主食をお供えし、日々の感謝とありがたさの気持ちを表すためであります。

そんな食の大切さを改めて感じたことでもあります。

合掌

◆先月の報告◆

5月20日（金）西光寺本堂にて茨木東組仏教婦人会親鸞聖人降誕会・総会を行いました。

茨木東組17カ寺の内の9カ寺の仏教婦人会の代表が、本年度は西光寺仏教婦人会に当たっていたため、西光寺にて法要と総会を行いました。

そして、5月21日が親鸞聖人降誕会（誕生日）ということもあり茨木東組副組長、各寺院の関係者、仏教婦人会の皆さまとともに行了ました。

それぞれ各寺院代表者が献華、献燈、献香を行い、皆さんで正信偈のお勤めをいたしました。

その後、老坊守の親鸞聖人ご誕生の紙芝居を行い、法要は終了。そして、茨木東組仏教婦人会総会を行い、新役員紹介・行事報告・会計報告などを経て、終わりました。

西光寺での親鸞聖人降誕会は今まであまり行っていませんでしたので、非常に味わい深く時間を過ごしたことであります。

親鸞聖人がおられたからこそ今があり、皆さんとの出会いがあり、そしてこうして共に過ごすことができました。

その時の写真を載せさせていただき、皆さんにも知っていただけたらと思います。

ありがとうございました。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>



親鸞聖人降誕会とご誕生の紙芝居



婦人会役員で献華・献燈・献香



◆七・八月の行事◆

・八月 十五日 (月)

孟蘭盆会法要

午後六時〜 仏説阿弥陀経

西光寺本堂

※その時の感染状況を見ながら行いたいと思います。

※お身体にご不安な方はご遠慮ください。



茨木東組副組長の挨拶と総会

